

連絡会ニュース

子どもと教育・くらしを守る広島県立学校教職員連絡会

No.1342 2025/07/03 (THU)

発行 広島高校連絡会事務局

Email renraku-kuko@mx6.tiki.ne.jp

HP <http://ww6.tiki.ne.jp/~renraku-kuko/>

携帯 090-1180-7644 (村井義幸)

090-9738-8264 (望月照巳)

ヒロシマが再び『軍都』になるの？

—高校生たちと共に考える私たちの未来—



7月5日(土)、日本ペンクラブなどが中心となって上記のようなタイトルでシンポジウムが広島弁護士会館で開かれ、約250人が参加しました。

朗読 虐殺とヒロシマを伝える

ガザ虐殺、広島原爆、原発をめぐる詩・作品

朗読 斎藤とも子 (俳優)

第1部 トランプ時代のヒロシマ

アインシュタイン宣言から70年、市民運動の現場から
半田滋、鈴木達治郎 (パグウォッシュ会議) 金平茂紀 (進行)

第2部 いまヒロシマで起きていること

平岡敬 (元広島市長) 市民の方々、小山美砂 (進行)

第3部 私たちの無関心

総督高校新聞部、元町高校美術部 OB、平岡敬、康彦恵里香
(カクワカ発起人) 永田浩三 ('ジャーナリスト) 田中美穂 (カクワカ)

13時から始まり18時までと長時間にわたって行われましたが、中身の濃い集会でした。まず、俳優の斎藤とも子さんの詩の朗読ではじまりました。林幸子さんの「ヒロシマの空」など原爆、原発、そして、ガザ虐殺を告発する詩を、怒りをもって読まれました。

第1部はジャーナリスト・金平茂紀さんの司会で、軍備拡大の問題について話されました。第2部では、ジャーナリスト・小山美砂さんの司会で、平和ノートの問題やパールハーバー公園と姉妹公園協定を結んだことなど広島市の平和行政の変容について話し合いました。第3部では、カクワカの田中美穂さんの司会で崇徳高校の新聞部の生徒たちや基町高校美術部の卒業生たちが被爆体験の継承や平和の問題について、今自分たちが行なっていることや同じ世代の若者に関心をもってもらうためには、どうしたら良いかなどを話し合いました。

(望月 照巳)



お文章

▼参政党は、「日本人フ
アースト」と叫んで外
国人を排斥します。保
守党も同様の立場です

▼思い起こせば、大阪維新の会として、橋元徹元大阪府知事 (市長) が、最初に敵に仕立てたのは、公務員。既得権益に守られて、仕事をしない市民の敵。国民民主の玉木が、敵に見立てたのは、現役世代にどっぶり甘えている年寄りたち▼こうして、本来手をつなぎ、社会を変え、政治を変えるべき人々の中に分断を持ち込み、野党共闘にくさびを打ち込み、自公政治の延命に手を貸すことになっています▼そのような、一瞬だけ輝き、消えて行く政党をどれ程、観てきたでしょうか▼古くは、リクルート疑惑 (公開前の株を圧倒的多数の与野党政治家に配った大スキャンダル) を機に河野洋平が自民党を飛び出して作った「新自由クラブ」▼本来なら、唯一クリーンだった共産党が大きく伸びる情勢の中、新自由クラブ (新自く) と名乗るだけで次々当選した▼この手法は、今日の「参政党」まで、通している。目新しく元気があって、共産党の票をかすめ取る。騙されるな! の声掛けを。